

目 次

I . 総括研究年度終了報告	
免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ向けての 検討	3
相場節也 (東北大学病院・皮膚科・教授)	
II . 分担研究年度終了報告	
1 . 免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ 向けての検討：国際バリデーションの施行	29
小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性予測評価部・第二室長)	
2 . 免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ 向けての検討：化学物質のMulti-ImmunoTox assayによる解析， 精度管理	48
近江谷 克裕 (産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門・ 研究部門長)	
3 . 免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ 向けての検討：化学物質のMulti-ImmunoTox assayによる解析， validation	55
山影 康次 (食品薬品安全センター秦野研究所・研究開発部・部長)	
4 . 免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ 向けての検討：化学物質のMulti-ImmunoTox assayによる解析， validation	70
中島 芳浩 (産業技術総合研究所・健康工学研究部門・研究グループ長)	
5 . 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoTox assay の国際 validation へ 向けての検討：統計学的視点に基づく Multi-ImmunoTox assay の データ解析方法の検討	83
大森 崇 (神戸大学医学部附属病院・臨床研究推進センター・特命教授)	
6 . 免疫毒性評価試験法Multi-ImmunoTox assayの国際validationへ 向けての検討：化学物質のMulti-ImmunoTox assayによる解析、 validation、プロトコール作成	90
木村 裕 (東北大学病院・皮膚科・助教)	
III . その他	
資料 Appendix 1. IL-2の転写、産生に関する化学物質、 シグナル伝達物質についての文献情報	154
資料 Appendix 2. Phase 2 validation studyの結果	161
IV . 研究成果の刊行に関する一覧表	171